

## <白金標準、目先の高値達成感から調整へ・・・>



(出所：オアシス)

英国政府がロシア産金属の購入禁止を受けて、パラジウムに波及する思惑から PGM 価格が上昇を強めると、NY 白金も 950 ドルを超えて年末には 1030 ドル近くまで上昇するなど 7 月の高値 1003.7 ドルを更新している。特に白金標準先物では、日米の金融政策の変更を受けた円高・ドル安の悪影響から 11 月の高値 4431 円を超える事が出来なかったが、今回の 1000 ドルを超える上昇で、4431 円を超えると一挙に 4504 円を超え、年末には 9 月の高値 4534 円に迫る 4517 円まで上昇している。

特にマイニングサイトでは、中国のプラチナ在庫が 1,200 万オンス (372 トン) と計算され、これは世界のプラチナ地上在庫 2,120 万オンス (657.2 トン) の 57% に相当する。また中国は国内法で第 3 国への輸出が禁止されており、必然的に市場への還流が途絶える事から、PGM 在庫が乏しい、ロンドン市場で価格の上昇が始まる可能性を強められる。

そのため白金標準先物で目先 4350 円～4400 円の下値レンジを固めると次の目標である 4534 円を通過点して 4740 円へ向けた上昇基調が続くと思われる。

### <テクニカル>

白金標準先物の日足を MACD と RCI で見た場合は、MACD では **MACD** の上昇が止まり、**シグナル** は上昇している。RCI では **短期** が切り上げだし、**長期** は上昇している。特に日足が **10 日移動平均線** へ向けて下げており、目先 4400 円への調整安に注意と思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行ってください。売買の判断はお客様御自身で行ってください。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 2,500,000 円(2024 年 1 月 4 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 79,200 円(2024 年 1 月 4 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)

証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター  
<https://www.nisshokyo.or.jp>